

シバナ

ホロムイソウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

準絶滅危惧

Triglochin asiaticum (Kitagawa) A. Löve et D. Löve

選定理由

生育地が県内では海岸の塩沼地数箇所に限られている。(現況:R-)

形態

細長く柔らかい根生葉を持つ多年草。穂状花序は、上下2層・6個の雄蕊と1個の雌蕊を単位とする「花」の集合。花被に見えるのは雄蕊の葯壁付属物。苞もない。

国内分布

北半球温帯に広く分布し、国内では北海道～九州に分布。石川県のものは「北の型」で、山口県、愛知県以南は「南の型」である。

県内分布

奥能登の外浦区および舩倉島にのみ分布。いずれも20倍体。

生態など

石川県では草丈15～25cmの多年草本で5月ごろから開花。種子と地下茎で繁殖。群生してシバナ群落をつくる。

生育環境

奥能登の外浦海岸や舩倉島の岩石海岸では、波食残丘や波食棚よりも岸寄りに形成されるベンチ内縁凹地やそれに接続する波食斜面にしばしば泥が堆積して固化し、そこに塩生湿地植物群落が形成される。

危険要因

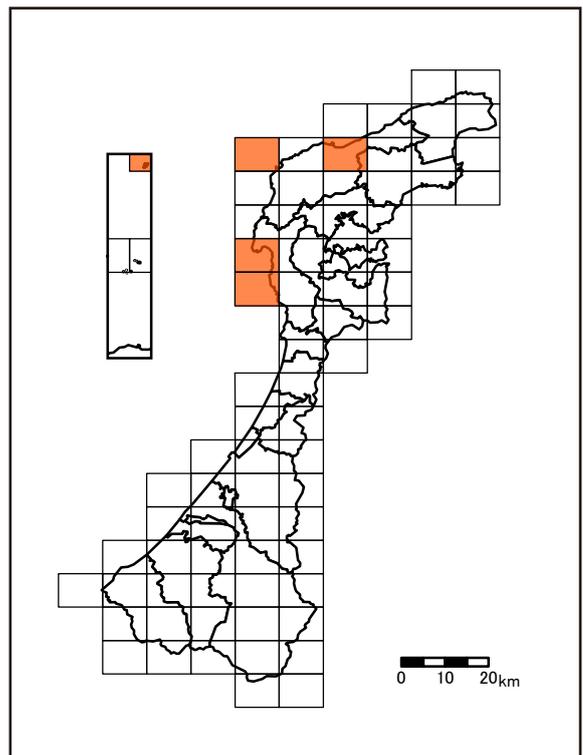
産地局限、個体数の少ないこと、海岸開発、重油汚染など。

特記事項

秋に開花する「南の型」は $2n=48$ で8倍体、春に開花する「北の型」は $2n=120$ で20倍体である。岩坪美兼ほか.1998. 中部地方におけるシバナ(広義)の分布と染色体数. 植物地理・分類研究 46:195-199.



本多郁夫・2006年5月30日・中能登・(花)濱野一郎



県内の分布